



水田さんのハウス。東の山がじゃまをして、冬場では9時にならないと日が当たらない



水田さんが目標とするトマトの大きさ

斜めウネを上から見たところ。黄色のラノーテープの下がちょうどウネにあたる。思った以上にハウス内はカラッとしている



(第115回)



## 斜めウネで高糖度トマト

高知県伊野町・水田益博さん

今回は、南国高知でフルーツトマトを栽培している水田益博さん<sup>みずひろ</sup>のハウスにおじゃましました。所変われば品変わる、ではないですが、高知では大玉で糖度のないトマトは売れないのだそうです。少々割高でも、水切り高糖度トマトならそれなりのお金を払ってくれるのだといいます。

\*

水田さんは水を絞りに絞って高糖度トマト作りをするのですが、六年前まではどうしても秀品率が六割ほどにしかありませんでした。高糖度トマトは一般に、水を切ってしまうので、ただでさえ収量は少なくなります。そのうえに秀品率が低いのは、泣き面に蜂です。そんなとき、大先輩のトマト農家のアドバイスをヒントに、水田さんはとんでもないことを始めてしまったのです。

ふつうはハウスの長辺に対して平行にウネを作るところ、なんと長辺に対して斜め四五度にウネを作ってしまったのです。水田さんのハウスはもともと、東南寄りに向いて立っていました。当然ウネの向きも同じです。そこで今回、ウネを長辺に対して斜め四五度にするので、南北のウネになるようにしたのです。もちろん、斜めにウネを立てると、ウネとハウスの支柱がぶつかることになりましたが、「品質のばらつきのない高糖度フルーツトマトを作りたい！」の一念で、ウネを作り変えてしまったのです。

すると、どうでしょう。それまでは、連棟ハウスにできる谷間の両側のウネはどうしても光がよく当たらず品質も劣りましたが、ウネを斜めにしたら、ウネの東側と西側から均等に光が当たるようになり、秀品率は九割にまで上がってしまったのです。ウネを斜めにすることで、条件の悪い谷間の株数も減って、光がよく入るようになったことが大きいようです。

「ハウスの向きが悪いせいで秀品



ハウスの谷間部分を別な角度から見たところ。暖房ダクトの分だけはトマトを植えていない



ハウスの谷間もちょっとわからないほど明るく感じる。谷間の柱の筋交いがあるので、いささか作業はしづらい

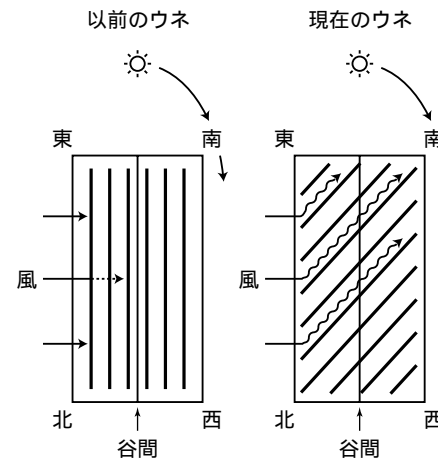
さて、水田さんの高糖度トマト「まっごとつまい まっごとま」とは、ピンポン球をちょっと大きくしたぐらいの大きさ。品種は、桃太郎ファイトとハウス桃太郎。これらを時期で使い分けます。

水田さんのやり方は、水をギリギリまで絞ってピンポン球の大きさで収穫まで持っていけます。何しろ与える水は、点滴かん水で一回一八分。これを一週間で二回やるだけなのです。

それでも地下水位の高いところや、西日がよく当たって乾くとこ



秀品率を下げていたハウスの谷間のところ。以前は、手を上げたところに3株が入っていた。今は株数が減って、光もよく入るようになり秀品率が上がった。手を広げている方向が以前のウネ方向



濃いベースグリーンがしっかり出ている。光線がよく当たっている証拠だ



「まっことうまい まっことまと」は糖度10度以上が売り。ホームページも充実しているせいか、ネット販売が1割近くなるという。コンテナにバラ詰めしたり、袋に詰めたりしてスーパーに出す他、レストランにも納品する

ハウス全体に同時に水が出るように、本管（空中の太いパイプ）に水が行き渡ってから各ウネのかん水チューブに水がいくようにしている。かん水量が変わらないように、本管には空気抜き弁（飛び出た管）も付けている



暖房が止まっているときに間欠運転して、ハウスの湿気を抜いてくれる「雨降りサーモ」は必需品だという



るなど、土壌水分の違いが果実の太り方の違いや糖度にすぐに表れてしまうといえます。そのためできるだけ土壌水分がハウス全体で均一になるように、水田さんは工夫をこらしています。

たとえば、かん水チューブから出てくる水の量は元ほど多く先ほど少なくなるので、かん水チューブをウネの端でぐるりと折り返して元まで持ってくるようにしています。また、かん水パイプに空気が入ると水量が変わってしまうので、空気抜き弁をつけています。さらに、西日の当たるハウスの南西側が乾きやすいので、南西側のウネは乾きにくい平ウネに近くし、その他は高めのウネにしています。

\*\*\*

水田さんは、雨続きの後に急に照らされた日にはなるべくハウスに入らないといいます。ハウスに入ったら最後、トマトがかわいそうで、水をやらずにいらなくなっ

てしまうからだそうです。

じつは水田さん、マンドリンの名手でもあります。そんな水田さんの繊細な心にとっても、植えられるトマトにとっても、何ともすさまじい、南国土佐のスパルタダイエットトマト栽培でした。そろそろ私もダイエットしなないと。あ。

\* 水田さんのホームページ  
<http://www.tomatonokai.com>